おくりがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの まちがい 3しゅるい

あ	**おくりすぎ** … かんじが 読む ところまで ひらがなに した	×思もう → ○思う
い	**「しい」の「し」が ない**	×正い → ○正しい
う	**そのほかの おくりたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない	×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、きごう（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ） きごう

① ぼくは 町で ぼうしを 買いました。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

② ゆうがた 川の そばを 歩るいて かえった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

③ おじいさんの 車は 古かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

④ ぼくは 新い くつを はいた。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑤ よるの 空で ほしが 光かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑥ はさみで 糸を 切って ください。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑦ おかあさんが 夕ごはんを 作た。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑧ 先生の はなしを 聞かない 子は いない。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑨ 学校までの みちは 遠かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑩ 町の 人が くだものを 売て いる。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑪ ねる まえに ぼくは えほんを 読みます。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑫ きのうの あさ、とりが 鳴た。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

しらべかた：線の ことばを 声に 出して 読み、かんじが 読む ところと ひらがなを くらべよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

おくりがなプリント　はってん②（日記の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう	→ ○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×正い	→ ○正しい
う	**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る	→ ○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、ひょうに　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、きごう（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

ゆうきさんの　日記

十月二日　はれ

きょうは　えんそく。みんなで　山へ　①行きました。

とちゅうの　草の　上を　ぼくが　先に　②走しった。

山の　上から　みた　森は　③広かった。

ぼくの　リュックは　④新くて、かるかった。

木の　かげで　⑤休んで、おべんとうを　たべた。

犬を　つれた　女の子に　⑥会あった。すぐに　⑦親く　なった。

かえりに　雨が　⑧止んだ。山を　おりる　ころ、空が　⑨明るかった。

バスの　中で、おかあさんが　ぼうしを　⑩直た。

いえに　⑪帰って、にっきを　⑫書た。

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

おくりがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ　**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した　　×思もう　→　○思う

い　**「しい」の「し」が　ない**　　×正い　→　○正しい

う　**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない　　×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、ひょうに　○か　×を　書こう。

まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、きごう（あ・い・う）も　書こう。

おじいちゃんへ

おげんきですか。ぼくは　まいにち　学校へ　①通います。

学校で　字の　かきかたを　②学なんだ。

うちの　子犬は　③小さかった。いまは　ぼくと　④走って　あそぶ。

おじいちゃんが　くれた　くつは　⑤新かった　ので、うれしかった。

休みの　日は　川の　そばで　本を　⑥読んで　います。

犬の　こやを　おとうさんと　⑦作て　あげた。

おじいちゃんの　いえは　⑧遠い　けれど、また　⑨行きます。

ぼくの　へやは　まどが　おおきくて　⑩明かるい。

ぼくの　えを　⑪見て、おへんじを　⑫書て　ください。

ゆうきより

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

おくりがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ　**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した　　×思もう　→　○思う

い　**「しい」の「し」が　ない**　　×正い　→　○正しい

う　**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない　　×考る　→　○考える

おしらせの　文から、おくりがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
ひょうに　正しく　書きなおして、きごう（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。おくりがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

クラスの　おしらせ（花だんの　おせわ）

つぎの　火ようびに、クラスで　花だんの　おせわを　します。

花だんには 赤い 花と 白い　花を　うえます。

はじめに、土の　上の　草を　引て ください。

土が　かたい　ときは、水を　足して ください。

花だんの　中に　入いって　あそんでは　いけません。

太とい　くきは　手で　おらないで　ください。

おわったら、じゃぐちの　水を　止て ください。

チャイムが 鳴なったら　すぐに　先生の　ところに　あつまります。

クラスの　みんなと　親しく　なれると　いいですね。

もちものは、水とうと　手ぶくろだけです。

ばんごう	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	きごう （あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

おくりがなプリント　はってん②（見なおし　チェック）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／まちがいの　わけを　ことばで（5まいの　うち　⑤）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし　チェックひょう　（自分の　作文を　書いたあとも　つかえます）

- あ　かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　して　いないか
- い　「しい」の「し」が　ぬけて　いないか
- う　ひらがなが　たりなくて　読めなく　なって　いないか

作文の　線の　ことばを　しらべて、ひょうに　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、まちがえた　わけを　ことばで　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　3こ。わけは　きごうでなく　ことばで。れい：「正い」は「し」が　ない。

あおいさんの　作文「なつやすみ」

ゆうがた、おばあちゃんの　町の　空が　①赤くて　きれいだった。

ぼくは　犬と　ながい　みちを　②歩るいた。

とちゅうで　草の　上に　③立って、うみを　みた。

うみは　おばあちゃんの　いえから　④近かった。

おばあちゃんの　犬とも　すぐに　⑤親かった。

夕ごはんは　おばあちゃんが　さかなを　⑥買た。

ばんごう	○×	なおした　書き方	まちがえた　わけ（ことばで　書こう）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

おくりがなプリント　はってん②（ひとつずつ　しらべ）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／ひとつの　文に　線の　ことば　ひとつ（5まいの　うち　①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×正い　→　○正しい
う	**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

線の　ことばが　正しいか　しらべ、○か　×の　どちらかに　しるしを　つけよう。
×は　正しく　なおして　右の　わくに　書き、きごう（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

○か　×か　　なおした　書き方（×の　ときだけ）　きごう

① ぼくは　町で　ぼうしを　買いました。

○　×　（なおさない）

② ゆうがた　川の　そばを　~~歩るいて~~　かえった。

○　×　**歩いて**　**あ**

③ おじいさんの　車は　古かった。

○　×　（なおさない）

④ ぼくは　~~新い~~　くつを　はいた。

○　×　**新しい**　**い**

⑤ よるの　空で　ほしが　~~光かった~~。

○　×　**光った**　**あ**

⑥ はさみで　糸を　切って　ください。

○　×　（なおさない）

⑦ おかあさんが　夕ごはんを　~~作た~~。

○　×　**作った**　**う**

⑧ 先生の　はなしを　聞かない　子は　いない。

○　×　（なおさない）

⑨ 学校までの　みちは　遠かった。

○　×　（なおさない）

⑩ 町の　人が　くだものを　~~売て~~　いる。

○　×　**売って**　**う**

⑪ ねる　まえに　ぼくは　えほんを　読みます。

○　×　（なおさない）

⑫ きのうの　あさ、とりが　~~鳴た~~。

○　×　**鳴いた**　**う**

つまずきやすいところ

歩るいて・光かった は 送りすぎの 例。買いました・古かった・聞かない は 長く 見えても 正しい 書き方。
新い のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

おくりがなプリント　はってん②（日記の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×正い　→　○正しい
う	**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、ひょうに　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、きごう（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

ゆうきさんの　日記

十月二日　はれ

きょうは　えんそく。みんなで　山へ　①行きました。

とちゅうの　草の　上を　ぼくが　先に　②~~走しった~~（×→走った）。

山の　上から　みた　森は　③広かった。

ぼくの　リュックは　④~~新くて~~（×→新しくて）、かるかった。

木の　かげで　⑤休んで、おべんとうを　たべた。

犬を　つれた　女の子に　⑥~~会あった~~（×→会った）。すぐに　⑦~~親く~~（×→親しく）なった。

かえりに　雨が　⑧止んだ。山を　おりる　ころ、空が　⑨明るかった。

バスの　中で、おかあさんが　ぼうしを　⑩~~直た~~（×→直した）。

いえに　⑪帰って、にっきを　⑫~~書た~~（×→書いた）。

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	走った	あ
③	○	（なおさない）	
④	×	新しくて	い
⑤	○	（なおさない）	
⑥	×	会った	あ

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
⑦	×	親しく	い
⑧	○	（なおさない）	
⑨	○	（なおさない）	
⑩	×	直した	う
⑪	○	（なおさない）	
⑫	×	書いた	う

つまずきやすいところ

走しった・会あった は 送りすぎの 例。行きました・広かった・明るかった は 長く 見えても 正しい 書き方。
新くて のように「しい」の「し」が ない まちがいは い。直た のように 動詞の「し」が ない まちがいは う に します。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

いちごドリル プリント

おくりがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう	→ ○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×正い	→ ○正しい
う	**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る	→ ○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、ひょうに　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、きごう（あ・い・う）も　書こう。

おじいちゃんへ

おげんきですか。ぼくは　まいにち　学校へ　①通います。

学校で　字の　かきかたを　②~~学なんだ~~（×→学んだ）。

うちの　子犬は　③小さかった。いまは　ぼくと　④走って　あそぶ。

おじいちゃんが　くれた　くつは　⑤~~新かった~~（×→新しかった）ので、うれしかった。

休みの　日は　川の　そばで　本を　⑥読んで　います。

犬の　こやを　おとうさんと　⑦~~作て~~（×→作って）あげた。

おじいちゃんの　いえは　⑧遠い　けれど、また　⑨行きます。

ぼくの　へやは　まどが　おおきくて　⑩~~明かるい~~（×→明るい）。

ぼくの　えを　⑪見て、おへんじを　⑫~~書て~~（×→書いて）ください。

ゆうきより

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	**学んだ**	**あ**
③	○	（なおさない）	
④	○	（なおさない）	
⑤	×	**新しかった**	**い**
⑥	○	（なおさない）	

ばんごう	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	きごう（あ・い・う）
⑦	×	**作って**	**う**
⑧	○	（なおさない）	
⑨	○	（なおさない）	
⑩	×	**明るい**	**あ**
⑪	○	（なおさない）	
⑫	×	**書いて**	**う**

つまずきやすいところ

学なんだ・明かるい は 送りすぎの 例。通います・小さかった・行きます は 長く 見えても 正しい 書き方。
新かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

おくりがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）【こたえ】　　なまえ

小2／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）　　ひづけ

おくりがなの　まちがい　3しゅるい

あ　**おくりすぎ** … かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　した　　×思もう　→　○思う

い　**「しい」の「し」が　ない**　　×正い　→　○正しい

う　**そのほかの　おくりたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない　　×考る　→　○考える

おしらせの　文から、おくりがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
ひょうに　正しく　書きなおして、きごう（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。おくりがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

クラスの　おしらせ（花だんの　おせわ）

つぎの　火ようびに、クラスで　花だんの　おせわを　します。

花だんには 赤い 花と 白い　花を　うえます。

はじめに、土の　上の　草を　引て　ください。

土が　かたい　ときは、水を　足して ください。

花だんの　中に　入いって　あそんでは　いけません。

太とい　くきは　手で　おらないで　ください。

おわったら、じゃぐちの　水を　止て　ください。

チャイムが　鳴なったら　すぐに　先生の　ところに　あつまります。

クラスの　みんなと　親しく　なれると　いいですね。

もちものは、水とうと　手ぶくろだけです。

ばんごう	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	きごう （あ・い・う）
①	引て	引いて	う
②	入いって	入って	あ
③	太とい	太い	あ
④	止て	止めて	う
⑤	鳴なったら	鳴ったら	あ

つまずきやすいところ

○の まま よい ことば（長く 見えても 正しい 書き方）：赤い・白い・足して・親しく
入いって・太とい は 送りすぎの 例。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

いちごドリル プリント

おくりがなプリント　はってん②（見なおし　チェック）【こたえ】　なまえ＿＿＿＿＿＿＿＿

小2／まちがいの　わけを　ことばで（5まいの　うち　⑤）　ひづけ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし　チェックひょう　（自分の　作文を　書いたあとも　つかえます）

- あ　かんじが　読む　ところまで　ひらがなに　して　いないか
- い　「しい」の「し」が　ぬけて　いないか
- う　ひらがなが　たりなくて　読めなく　なって　いないか

作文の　線の　ことばを　しらべて、ひょうに　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、まちがえた　わけを　ことばで　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　3こ。わけは　きごうでなく　ことばで。れい：「正い」は「し」が　ない。

あおいさんの　作文「なつやすみ」

ゆうがた、おばあちゃんの　町の　空が　①赤くて　きれいだった。

ぼくは　犬と　ながい　みちを　②~~歩るいた~~（×→歩いた）。

とちゅうで　草の　上に　③立って、うみを　みた。

うみは　おばあちゃんの　いえから　④近かった。

おばあちゃんの　犬とも　すぐに　⑤~~親かった~~（×→親しかった）。

夕ごはんは　おばあちゃんが　さかなを　⑥~~買た~~（×→買った）。

ばんごう	○×	なおした　書き方	まちがえた　わけ（ことばで　書こう）
①	○	（なおさない）	
②	×	歩いた	「歩く」の「ある」の「る」まで ひらがなに して いる。
③	○	（なおさない）	
④	○	（なおさない）	
⑤	×	親しかった	「親しい」の「し」が ぬけて いる。
⑥	×	買った	「買う」の 送りがなが たりなくて、「かた」に なる。

丸つけの めやす

わけは どんな ことばでも よい。つぎの 考え方が 入って いれば ○（記号だけは ×）：
□ あ：漢字が 読む ところ（「ある」の「る」など）まで ひらがなに している
□ い：「しい」の「し」が ぬけている
□ う：ひらがなが たりなくて 正しく 読めない

いちごドリル プリント